



じょうもん
縄文アイドル ミライ・ギンガ
びじゅつかん
ソノヒカギリ美術館所蔵



がっこうじゅんかいこうえんじぎょう
「学校巡回公演事業」

しょうがっこう ちゅうがっこう ぶんがくげいじゆつだんたい じつえんげいじゆつ じゅんかいこうえん おこな ことも しつ
小学校・中学校等において文化芸術団体による実演芸術の巡回公演を行い、子供たちが質の
たか ぶんがくげいじゆつ かんしょう・たいけん きかひ かくほ ことも ゆた そうぞうりょく そうぞうりょく
高い文化芸術を鑑賞・体験する機会を確保するとともに、子供たちの豊かな創造力・想像力や、
しこうりょく のうりょく やしな しょうらい げいじゆつか かんきやくそう いくせい すぐ ぶんがくげいじゆつ
思考力、コミュニケーション能力などを養い、将来の芸術家や観客層を育成し、優れた文化芸術の
そうぞう し もくてき
創造に資することを目的としています。

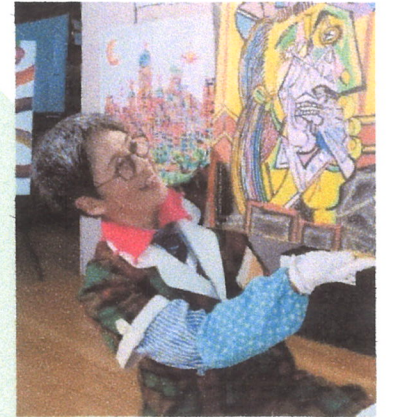
ワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞指導を行います。また、実演においては、子供
さんか くふう おこな
たちが参加できる工夫を行います。

げきだんかぜ こ
■劇団風の子について■
げきだんかぜ こ だい じ せかい たいせん お
劇団風の子は、第2次世界大戦が終わってすぐの1950年に、子どもたちのための専門劇団になる
うと創立しました。
それからもう73年になりますが、ずっと日本中の学校をまわったり、世界のいろいろな国の子ども
もたちに劇をみてもらってきました。
げき せかい へいわ こ じぶん め ものこと み じぶん あたま
劇をしながら、世界が平和になることや、子どものみなさんが、自分の目で物事を見、自分の頭で
かんが じゆう みらい ねが
考え、自由に未来にはばたいていってくれることを願っています。

ぶたい 舞台とアートのコラボレーション



学芸員 ソノバ・シノギ



はじめての美術館

自分の記憶の中にある最初の美術と言われるものは、何か問われたら、私はアントニオ・ガウディの建築と答えると思います。右なのにもすごく柔らかな遠い未来からやってきたのか。映像ですがひとめで心をわづかみにされました。いつの日かこの目で見てみたい、それは今も持ち続けている夢です。美術や音楽、演劇には人をとりこにする力があると信じています。

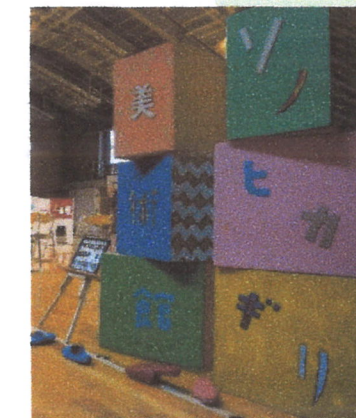
ソノヒカギリ美術館は美術展示だけではなく、子どもたちの創作の時間もあります。音楽を奏でる時間もあります。物語を感じる時間もあります。それらをすべてあわせると演劇になります。

この劇を観た子どもたちが自分で思ったこと、感じたことを表現したいと思ってもらえたら、とてもうれしいことです。

構成演出 大瀧弘幸



学芸員 ソノキニ・ナール



あそびにきた子ども アキ



◆ 劇をつかった人 ◆

げんあん 原案 / 村井昌世
さく 作 / ソノヒカギリ美術館製作委員会
こうせい 構成・演出 / 大瀧弘幸
びじゅつ 美術 / ナカムラジン
しんたいひょうげん 身体表現 / 原田亮
おんがく 音楽 / 青柳拓次
せいさく 制作 / 浅野井優子
せいさくじゆしゆ 制作助手 / 森森次郎

◆ 出演者 ◆

ソノキニ・ナール / 天堀鷹・菅原武人 (Wキャスト)
ソノバ・シノギ / 高橋素子
アキ / 手島純子・三ツ井奈緒 (Wキャスト)

あらすじ

ソノキニ・ナールさんとソノバ・シノギさんはソノヒカギリ美術館の学芸員です。毎日あちらこちらで一日限りの美術館を開催しているのですが、今日はこの小学校の体育館でソノヒカギリ美術館を開くことになりました。校長先生から依頼のお電話をいただいたのです。

児童の皆さんがやってきました。あら大変、まだ準備中なのに！あわてて大きな箱を開いたり包みを解いたりするふたり。そこに一人の子どもが迷い込んできました。名前はアキ。

アキは箱の上に乗ったり、包んであった大きな紙をガサガサしたり放り投げたりして遊び始め、ナールとシノギはちっとも仕事はかどりません。展示された立派な美術作品さえもアキにとっては格好の遊び相手。ナールとシノギはなんとか準備を進めようと思いますが、ついアキのペースに乗せられて二人も遊び始めてしまいます。

遊んでいるうちにシノギが額縁の中に閉じ込められて絵になってしまいました。アキとナールはどうしたらシノギを助け出すことができるでしょうか。ソノヒカギリ美術館は無事オープンできるのでしょうか！？

